

下呂市の名峰14座をめぐるトレッキングガイド

下呂市の山 2019

展望の山TOP3

白草山 1,641m

川上岳 1,626m

御前山 1,646m

NewFace !

下呂富士 767m 下呂温泉のルーツを訪ねる歴史山旅

山歩きが楽しくなる歴史・伝説
登山ガイド&登山口アクセス

目次

【下呂】

1. 湯ヶ峰(1,067m) 2P
2. 下呂富士(767m) 3P
3. 下呂御前山(1,411m) 4P
4. 寺田小屋山(1,505m) 5P
5. 白草山(1,641m) 6P
6. 小秀山(加子母)(1,982m) 7P

【萩原】

7. 御前山(萩原)(1,646m) 8P
8. 仏ヶ尾山(1,139m) 9P
9. 光と風の道・船山(1,479m) 10P
- ※2019 年中は工事により位山峠全面止め。
10. 位山(1,529m) 11P
11. 川上岳(1,626m) 12P

【小坂】

12. 御嶽山(3,067m) 13P
- ※2014 年 9 月 27 日の噴火により入山規制中。長野県へ二の池経由可能(2016 年 6 月 30 日現在)
13. 根尾の滝 14P
- ※2018 年の水害により吊り橋流失。現在、ガイド付きツアーのみ入山可能。

【金山】

14. 築谷山(1,213m) 15P

①湯ヶ峰 1,067m 下呂地域



下呂温泉の熱源となる火山

下呂温泉の南東にそびえる湯ヶ峰は、約 10 万年前に噴火した火山です。その熱源（マグマ溜まり）は冷めずに残り、飛騨川の地下に移動したことにより、現在も下呂温泉を温めています。

下呂温泉発見伝説の地

その昔、湯ヶ峰の山中に温泉があり、村人は苦勞して湯治に通ったといいます。鎌倉時代のある日、地震と共に山の温泉が止まり、飛騨川畔に湧き出しました。それを人々に教えてくれたのが、下呂温泉の白鷺発見伝説です。湯ヶ峰の頂上直下には、温泉が湧いていた「湯壺」跡があります。

縄文時代に流通した下呂石

噴火で噴出したガラス質の溶岩は「下呂石」と呼ばれ、軽くて加工しやすいため縄文時代には矢じりなど石器の大工房がありました。湯ヶ峰で産出された下呂石は遠く千葉県でも発見されています。

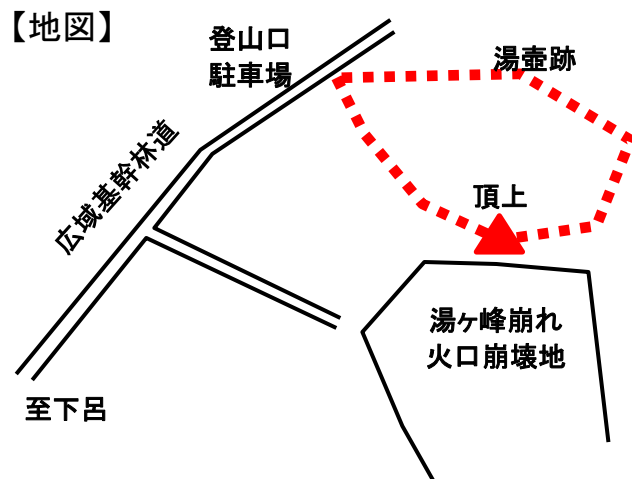
【登山ガイド】

登山口から火口縁の稜線を辿って、わずか 10 分のらくらく登山です。

頂上から下呂温泉街を見おろし、手軽に展望が楽しめます。火口崩壊地に気を付けて一周すると、かつて温泉が湧いていたとされる湯壺跡などを訪ねることができます。

【所要時間 10 分】

【地図】



【アクセス】

- ①国道41号線の森交差点を東方向（山側）へ進み、下呂温泉合掌村前を直進、下呂動物病院の三叉路を左折、すぐに料亭志むらの看板を目標に右折します。
- ②山中の道を進むと大林集落があり、志むらを過ぎて舗装された広域基幹林道の三叉路に出ます。
- ③加子母方面に右折して直進すると、駐車スペースと登山口の標識が現れます。

【道路状況】舗装道路、路面状況は良好。【駐車スペース】10台程度。

②下呂富士 767m 下呂地域



下呂温泉のシンボル

下呂温泉の北にそびえる中根山は、その形から別名・下呂富士とも呼ばれ、下呂六景のひとつにも数えられて親しまれています。

下呂温泉発見伝説の地

鎌倉時代のある日、地震で湯ヶ峰の温泉が止まったのち、一羽の傷ついた白鷺が飛騨川の新たな温泉を教えました。村人が飛び立つ白鷺を追って中根山に向かうと、山の中腹に薬師如来像がありました。人々は白鷺を薬師如来の化身として温泉寺を祀りました。温泉寺には伝説の薬師如来像があります。

下呂温泉の歴史をたどる道

温泉寺は下呂温泉のルーツ、登山口に近い湯之島館は高山線開通からの近代下呂温泉「日本に名所が又一つ」発祥の地である登録有形文化財です。

下呂富士の頂上近くには、戦争中に富山空襲に向かうB29を監視した見張り台跡もあり、下呂温泉の歴史をたどることができます。

【登山ガイド】

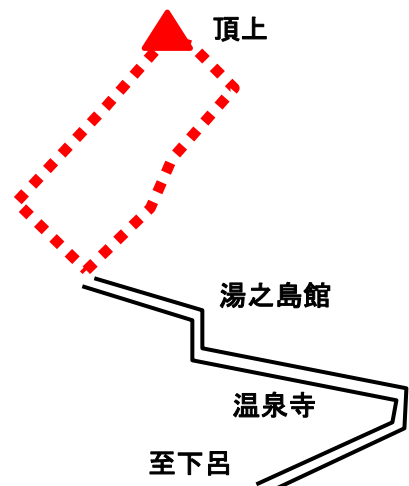
登山口から2つのルートに分かれます。

馬搬道と呼ばれる馬で木材を搬出した道をたどり、頂上につくと、近くに戦争中の見張り台などがあります。

頂上は樹木に囲まれて展望はありません。

【所要時間 1 時間】

【地図】



【アクセス】

①下呂温泉街から温泉寺、湯之島館方面に進みます。

②湯之島館の玄関前を通り過ぎ、少し進むと、終点のロータリーがあります。

【道路状況】舗装道路、路面状況は良好。【駐車スペース】数台程度。

③下呂御前山 1,411m 下呂地域



御嶽山遥拝の山

御嶽山を真正面に望むことから御前山の山名があり、頂上から御嶽山を遥拝する信仰の山です。萩原の御前山と区別して下呂御前山と呼ばれますが、空谷という名もあります。

観音峠とタカの渡り

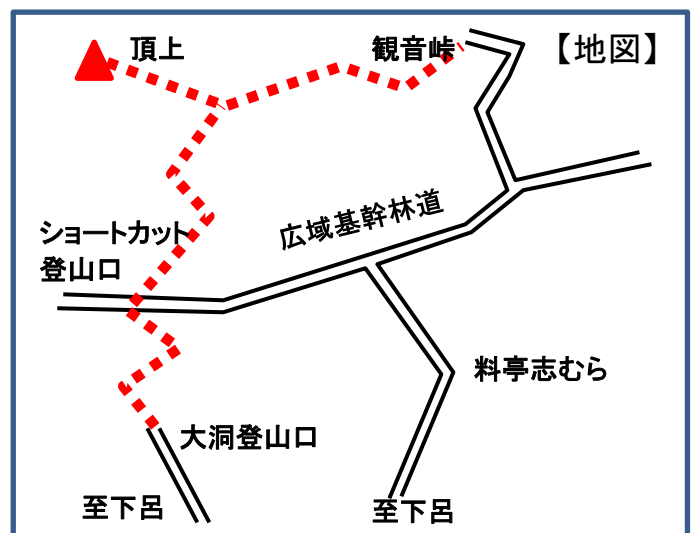
下呂御前山の登山口は西の大洞集落（大林集落からショートカットコースあり）のほか、南の観音峠から稜線を縦走するコースもあります。

観音峠は北から南に向かうサシバ（タカ的一种）や大型の蝶アサギマダラが御嶽山から上昇気流に乗って一気に伊良湖岬までを飛んでいく中継地にあたり、季節になると大勢のウォッチャーで賑わいます。

【登山ガイド】

大洞登山口から進むと5合目で広域基幹林道と交差します。ここまで大林集落から車でショートカットすることができますが、大洞から登ってきた場合は、登山道の前後がずれているので注意が必要。

さらに登ると高岩管理林道と交差して、稜線上で観音峠からの縦走路と合流します。稜線を北に向かって進むと、高岩観音を経て、頂上です。【所要時間2時間】



【アクセス】

【大洞登山口へのアクセス】

- ① 国道41号線の森交差点を東方向（山側）へ進み、KKRしらさぎ前の変則4叉路を「下呂御前山登山口」の看板を目標にKKRしらさぎ方向へ進みます。
- ② 住宅街を抜け、大洞集落を過ぎると林道に入ります。
- ③ 林道終点に駐車スペースがあります。

【道路状況】舗装道路、林道はやや荒れた状況で普通車は注意。【駐車スペース】4～5台程度。

④寺田小屋山 1,505m 下呂地域



御嶽山の展望台

御嶽山を南西斜面から眺める展望台です。かつては頂上に無線アンテナ群があり、管理道が残っているので比較的容易に頂上に立てます。林道が頂上下まで伸びていますが、治山工事が続いており、長い林道歩きになります。

ピラミタルな山容

乗政地区から北を望むと、ピラミタルな山容がひととき目を引きまします。寺田小屋という山名の由来はよく分かっていません。

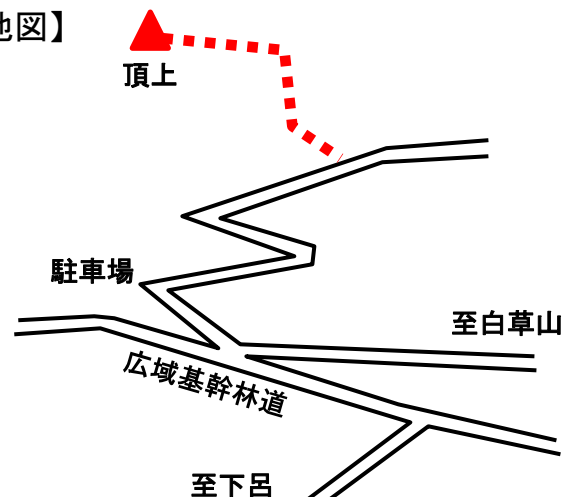
【登山ガイド】

治山林道を歩き、途中に法面に切られた階段があるので、そこから登山道になります。

旧管理道を歩き、笹原の斜面をひとのぼりで、2つのピークからなる頂上です。笹原が広がる向こうに御嶽山がそびえています。

【所要時間 1 時間 30 分】

【地図】



【アクセス】

- ①国道257号線の宮地交差点を北方向(山側)へ進み、県道乗政下呂停車場線を直進します。
 - ②乗政温泉をすぎ、三叉路を左折して進むと乗政キャンプ場の上で広域基幹林道の三叉路に出ます。
 - ③萩原方面に左折すると、白草山登山口の黒谷林道分岐(三叉路)、そこから治山林道に進みます。
 - ④治山林道の途中にゲートがあり、手前に駐車スペースがあります。
- 【道路状況】舗装道路、路面状況は良好。マイクロ可。【駐車スペース】10台程度。

⑤白草山 1,641m 下呂地域



御嶽山の噴火口を真正面に眺める

御嶽山に最も近く、剣ヶ峰南面噴火口を真正面から望むことができます。飛騨側からも木曽側からも、御嶽山南面を近くから眺める場所はないので、貴重な景色が見られます。

一面の笹原が広がる別天地

白草山の山頂一帯は、平坦な高原に一面の笹原が広がり、樹木がないので視界を遮るものがありません。大きくそびえる御嶽山はもちろん、北アルプス薬師岳から笠ヶ岳、槍ヶ岳、乗鞍岳、中央アルプスの山々と白山を望みます。

山歩き入門編にぴったり

急な坂道や危険な場所もなく、2時間30分程度で展望のよい山歩きが楽しめるため、山登り入門編の山として親しまれています。

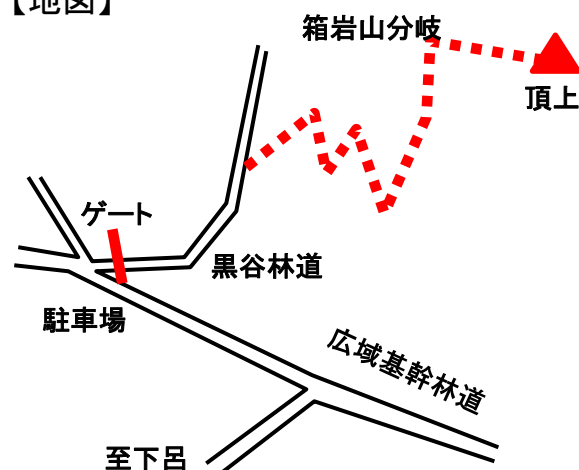
【登山ガイド】

黒谷林道を歩き、谷川を渡った先から登山道が始まります。適度に九十九折を繰り返して高度を上げますが、急坂はありません。

向いの高森山と同じ高さになった頃に稜線に出て、樹木のない笹原を進みます。小さな森を抜けて箱岩山との分岐を過ぎると御嶽山が真正面に見え、気持ちのよい高原をひと歩きで白草山の頂上です。

【所要時間2時間30分】

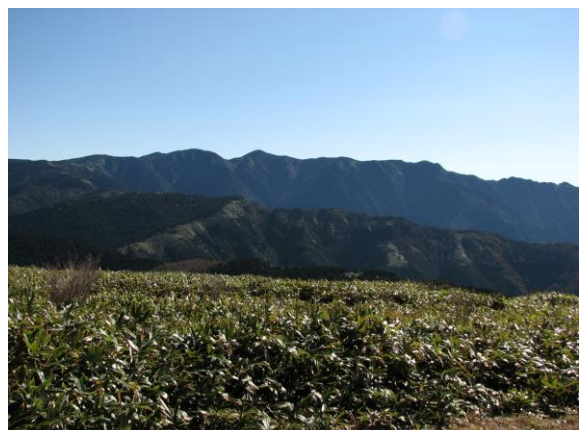
【地図】



【アクセス】

- ①国道257号線の宮地交差点を北方向(山側)へ進み、県道乗政下呂停車場線を直進します。
 - ②乗政温泉をすぎ、三叉路を左折して進むと乗政キャンプ場の上で広域基幹林道の三叉路に出ます。
 - ③萩原方面に左折すると、白草山登山口の黒谷林道分岐のゲートがあります。
- 【道路状況】舗装道路、路面状況は良好。マイクロ可。【駐車スペース】路肩に10台程度(工事車両通行注意)
※黒谷林道は車両通行不可。林道歩きになります。

⑥小秀山 1,982m 下呂地域（加子母）



阿寺山地の最高峰

中津川市から下呂市にかけて 70 km以上続く日本有数の活断層・阿寺断層の活動が形成した阿寺山地の最高峰であり、御嶽山を真正面に望む展望の山です。

ハードな健脚向きの山

標高は2千メートルに足りませんが、日帰りとしては所要時間7時間を要するなど、ハードな健脚向きの山です。登山道は二の谷登山道と三の谷下山道に分かれ、登山専用ルートには木の根を伝って垂直の岩を30mも登るカモシカの渡りなどの難所が続きます。

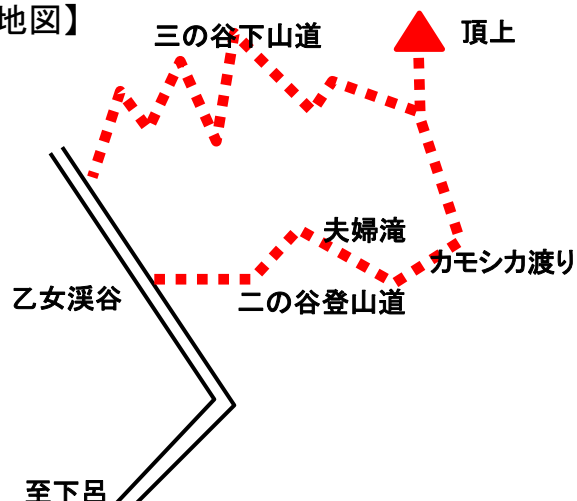
【登山ガイド】

乙女溪谷キャンプ場の駐車場から谷川を渡って二の谷沿いに進みます。立派な木道が続き、多くの滝を眺めながら落差 80m の夫婦滝を過ぎると、本格的な登山道に入ります。

垂直の岩壁を 30m 登るカモシカの渡りなど難所が連続し、ようやく稜線に出た後は、御嶽山を眺めながら頂上まで縦走します。帰りは三の谷下山道を利用します。

【所要時間7時間】

【地図】



【アクセス】

- ①国道257号線の舞台峠から東方向（山側）へ進み、B&G海洋センター体育館前を直進します。
 - ②中津川市加子母の小郷地区を乙女溪谷の標識に従って進みます。
 - ③乙女溪谷キャンプ場の駐車場が登山口です。
- 【道路状況】舗装道路、路面状況は良好。マイクロ可。【駐車場】季節により駐車料金を徴収されます。

⑦御前山 1,646m 萩原地域



御嶽山遥拝の信仰の山

御嶽山を真正面に望むことから御前山の名があります。古くから御嶽山遥拝の信仰を集め、平安から鎌倉時代には恵心僧都源信作の観音菩薩像を祀る天台宗の山岳寺院が山中にあったと伝わり、今の禅昌寺のルーツといわれます。寺院があったとされる場所には、焼堂ヶ原の地名もあります。

戦国時代には織田信長が岐阜城の鬼門除けとして山頂に黄金の観音像を奉納しました。

頂上が見えない不思議な隠れ山

萩原の町からよく目立つ御前山ですが、実は頂上は稜線に隠れて麓からは見えていません。そうした神秘性が信仰の山となった所以でしょうか？

【登山ガイド】

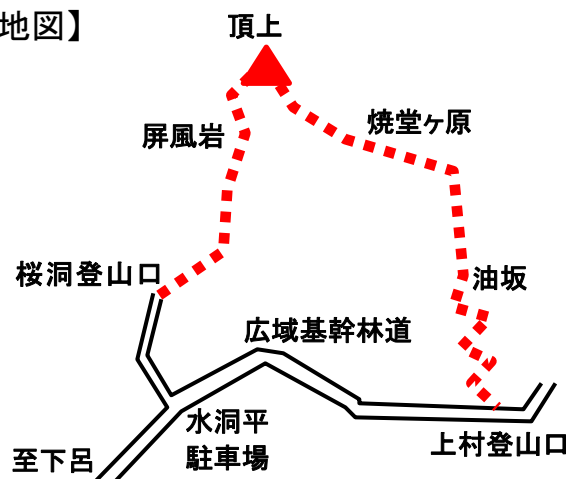
舗装林道の終点駐車場から谷川を渡り、桜谷沿いに上り詰めていきます。苔むした登山道は滑りやすいので注意が必要です。

巨大な屏風岩が見えると、道はジグザグになって高度を上げ、巨岩に観音堂が祀られた頂上に出ます。正面に御嶽山が見えます。

高原状の焼堂ヶ原から油坂の急下りを経て上村登山口に出て、周遊もできます。

【所要時間 3 時間 30 分】

【地図】



【アクセス】

- ①国道41号線の萩原駅下交差点を東側(山側)へ入ります。
- ②萩原駅前を左折し、益田清風高校を右折してJR踏切を渡り、桜洞集落を直進します。
- ③御前山登山口の看板を目印に、広域基幹林道に入ります。
- ④広域基幹林道の水洞平駐車場の手前に、左折して登る林道があります。水洞平までマイクロ可能。
- ⑤桜谷川沿いに林道を進むと登山口前に駐車場があります。

【道路状況】舗装道路、広域基幹林道の路面状況は良好。【駐車スペース】登山口前に10台程度。

⑧ 仏ヶ尾山 1,139m 萩原地域



伝説の舞台になった山

昔、野上の里の腕のいい猟師が鉄砲撃ちに山に入りましたが、その日に限って獲物が見当たりません。頂上で山鳥を見つけた猟師が狙いを定めて銃を撃つと、倒れていたのは阿弥陀如来像でした。

阿弥陀如来を抱えて帰った猟師は、それ以来ぶつくり猟をやめ、誰ともなく仏ヶ尾山と呼ぶようになりました。明治時代、東京の仏師に修理に出されたところ、「この仏像は人間技ではない、もったいなくて触ることができない」と言われたそうで、今でも地区の旧家に安置されています。

御嶽大神白山大神の碑

頂上は2つのピークに分かれていますが、手前のピークには「御嶽大神白山大神」と彫られた石碑があります。かつては雨乞いの山として信仰され、日照りには、山姥が住むという岩穴で火を焚いて煙を送りました。不思議に雨が降ったそうです。

【登山ガイド】

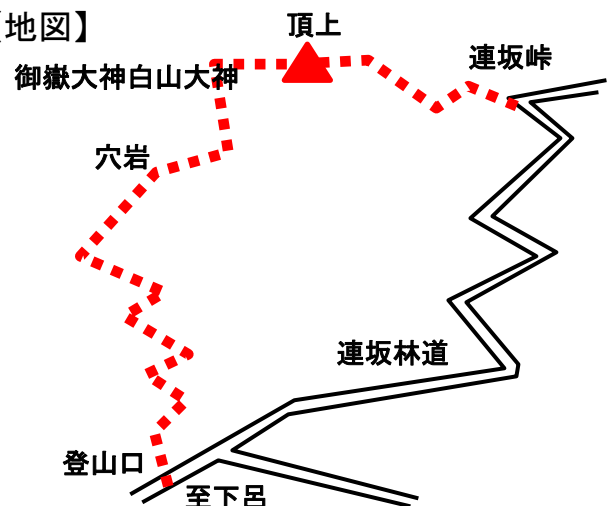
登山口から鹿柵の出入り口をくぐり入山します（鹿柵は閉めておきます）。いきなり急坂が続き、一気に高度を上げますが、展望処と穴岩のあたりから尾根道は緩やかになり、背後に御嶽山が見え始めます。

ひと登りで御嶽大神白山大神の碑があるピークを経て、展望の開けた頂上につきます。

【所要時間 2 時間】

連坂林道を利用した尾根道は 30 分程度。

【地図】



【アクセス】

- ① 国道41号線の上呂駅前交差点を西側（川側）に進み、浅水大橋を渡ります。
 - ② JAひだ浅水支店の裏を左折し、北保育園の前を通り、製材所をすぎた三叉路を山手に上がります。
 - ③ 野上集落のカーブの三叉路を直進、集落の外れのログハウスが登山口です。
 - ④ 登山口の近くに墓地があり、駐車スペースがあります。
- 【道路状況】舗装道路、路面状況は良好。マイクロ可。【駐車スペース】墓地前に数台程度。

⑨船山・光と風の道 1,479m 萩原地域



北アルプスのパノラマが開ける

船山は山名のとおり、南北2kmもの長くて平坦な山頂が特徴的です。突端のアルコピアスキー場最上部からは、御嶽山から乗鞍岳、北アルプスの大パノラマが展開します。

いろいろ不遇の山

神話の時代、位山の男神を巡り、川上岳の女神と争った船山の女神は恋に破れ、位山との間に無数河川の谷を作って行き来を絶ったと伝わります。現在では、山頂に立ち並ぶ無線アンテナ群と頂上まで車で行けることが登山意欲を削ぐせいか、飛騨富士という立派な別名の割に、あまり登山対象にならない不遇の山です。

岐阜大学位山演習林の森

船山の登山ルートは下呂市側の位山峠から始まる光と風の道。岐阜大学位山演習林のブナ林が広がる気持ちのいい森林浴が楽しめます。



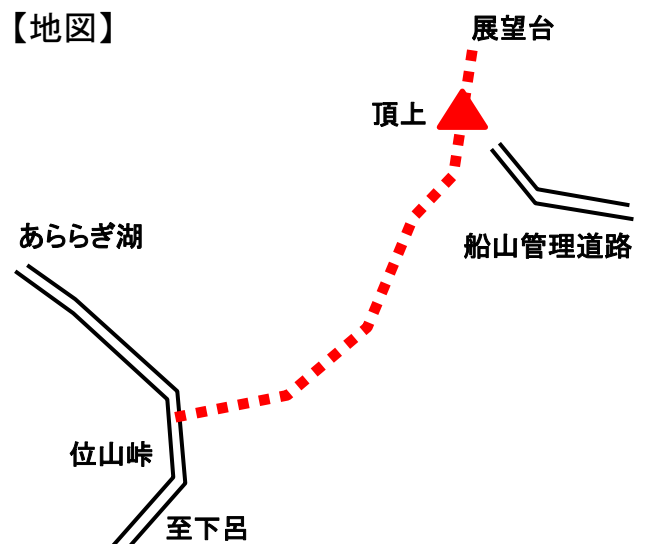
【登山ガイド】

位山峠から岐阜大学位山演習林のブナ林を進みます。いくつもの小ピークを上り下りするので意外に疲れる道ですが、新緑や紅葉が素晴らしい場所です。

高度を上げて頂上の一角にとりつくと、あとは2kmにわたって平坦な山頂部が続きます。最高点はアンテナに囲まれた場所にあります。船山神社をすぎてアルコピアスキー場の突端に着くと、大パノラマが開けます。

【所要時間 2 時間 30 分】

【地図】



【アクセス】

①国道41号線の上呂交差点を西側(川側)に進み、浅水大橋を渡ります。

②浅水大橋西詰の交差点を右折し、県道宮萩原線を北進します。

③山之口集落をすぎて、県道は狭くなり、ヘアピンカーブを繰り返して位山峠に到着します。

【道路状況】舗装道路、路面状況は良好、山之口までは2車線、峠道は狭い。【駐車スペース】峠辺に数台程度。

※2019 年中は工事により位山峠全面通行止め

⑩位山 1,529m 萩原地域



位山官道と飛驒の匠

奈良時代、飛驒国府と都を結ぶ東山道飛驒支路は飛驒川沿いでなく、苅安峠と位山峠を越え、尾崎の浅水橋で伴有駅（留駅、現在の上呂、下呂市の地名のルーツ）につないでいました。貧しい飛驒からは建設労働者が都の社寺造営に駆り出され、飛驒工（飛驒の匠）と呼ばれました。

信仰の山

位山は山全体が飛驒一ノ宮水無神社のご神体。古代出雲族が宮川沿いに飛驒を開拓し、水源の山（水主）と信仰したことに由来します。

正一位を戴いた笏

奈良時代、位山に多く自生したイチイの木で笏をつくり、朝廷に献上したところ、その素晴らしさから木に「正一位」の官位を下賜されたことから、イチイの名がついたといわれます。

【登山ガイド】

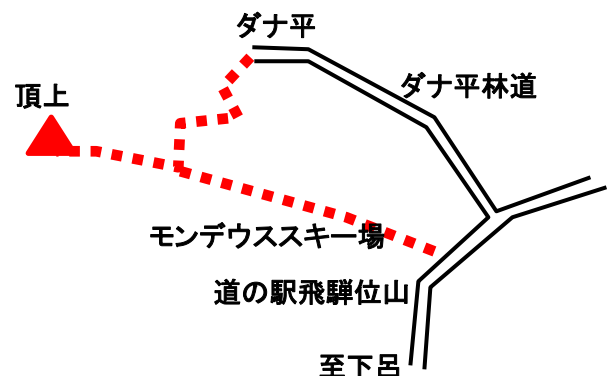
ダナ平からショートカットするルートは、駐車場から急な坂道を約 30 分で平坦な山頂部に出て、緩やかな尾根道をたどると山頂です。

【所要時間 30 分】

モンデウススキー場から直登するルートは、スキー場の草原が急で、日影もありますが、御嶽山、乗鞍岳や北アルプスの展望がよく、山頂部に近づくと緩やかな尾根道になります。

【所要時間 1 時間 30 分】

【地図】



【アクセス】

- ①国道41号線を高山市に向かい、無数河交差点を左折してモンデウススキー場に到着します。
 - ②ホテルホワイトルンゼからダナ平林道に入ります。かなり荒れたダートの林道で注意が必要です。
 - ③直進すると、駐車スペースと登山口の標識が現れます。
- 【道路状況】ダナ平林道はかなり荒れたダートで注意が必要 【駐車スペース】数台程度。

⑪川上岳 1,626m 萩原地域



360度の大パノラマ

日本300名山のひとつ、頂上付近は樹木のない笹原が広がり、御嶽山、乗鞍岳、北アルプスから白山まで360度視界を遮るものがない大パノラマが広がる人気の山です。

うさぎのばんばん

神話の時代、川上岳、位山、船山の三山には位山の男神をはさんで西の川上岳の女神、東の船山の女神がおりました。あるとき、2人の女神は「位山の上に月がかかったのを合図に、先に駆けつけた方が男神と結婚できる」と競い合いました。東の船山は月が西に向かうのを待つうち、西の川上岳は東に当たる位山に月が昇ったように見えて位山に駆けつけました。位山と川上岳は沢山の子宝に恵まれ、山頂で遊ぶ様子は兎が跳ねるように見えたので「うさぎのばんばん」と呼ばれました。一方の船山は怒って無数河川を作り、行き来を絶ったといひます。

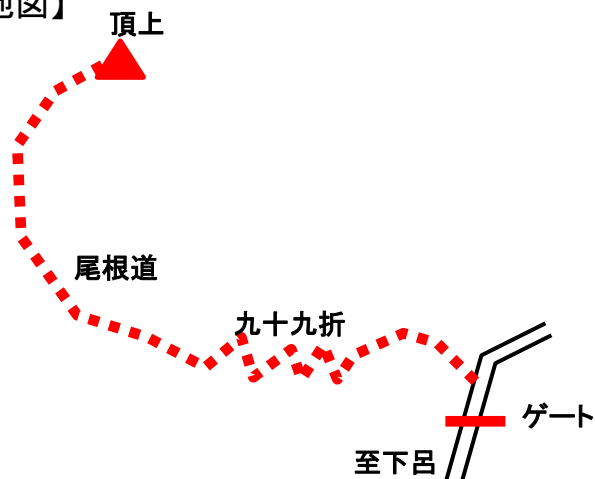
【登山ガイド】

森林管理署ゲートから100mほどで登山口があります。すぐに大足谷を渡り、九十九折の急坂を上ります。樹林に囲まれて展望も開けず苦しいところです。

尾根道に出ると明るいブナ林になり、背後に御嶽山が見え始めます。大足谷を回り込むと笹原の尾根道になり、2つのピークを過ぎて頂上に到着します。

【所要時間 3 時間 30 分】

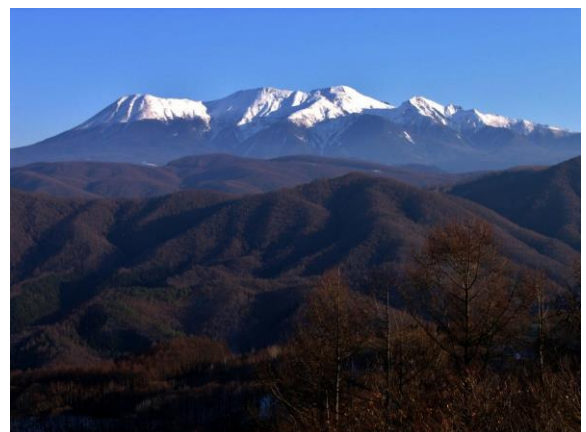
【地図】



【アクセス】

- ①国道41号線の上呂交差点を西側(川側)に進み、浅水大橋を渡ります。
 - ②浅水大橋西詰の交差点を右折し、県道宮萩原線を北進します。
 - ③山之口集落の中心部、山之口公民館前を左折し、民宿位山荘の前を直進します。
 - ④集落を外れるとダートの林道になり、森林管理署ゲート前に駐車スペースがあります。
 - ⑤ゲートから100mほど進むと登山口です。
- 【道路状況】林道は荒れたダートで注意が必要。【駐車スペース】森林管理署ゲート前に数台程度。

⑫御嶽山 3,067m 小坂地域



自然の宝庫・北の御嶽山

2014年9月の御嶽山噴火により、現在も火口から1km圏内、最高峰・剣ヶ峰への登山は規制されています。しかし、御嶽山の良さは自然が豊かで優しい風貌の北部にあります。噴火を逃れた高山植物や雷鳥、満天の星空にご来光、夕陽を眺めに、北の御嶽山にお越しください。

水の山・御嶽山

かつて御嶽山は海拔2千m付近に満々と水を湛えたカルデラ湖でした。その後の噴火で3千m級の火山に成長しましたが、地下深くには湖の底があり、豊富な湧水から多くの滝が流れ落ちます。

御嶽山登山情報(2016年6月末現在)

現在、火口の周囲1km圏内は立入禁止です。二の池から長野県黒沢口への通り抜けは可能ですが、剣ヶ峰登頂はできません。

営業小屋は御嶽五の池小屋、石室山荘、女人堂。

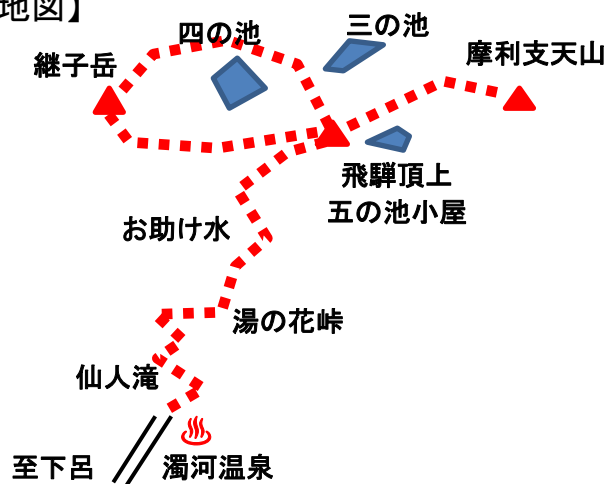
【登山ガイド】

濁河温泉駐車場から草木谷を渡り、仙人滝の上を過ぎて仙人橋から本格的な登山道に入ります。急な木道を喘ぎながら登り、湯之花峠から尾根道になって高度を上げます。

のぞき岩、お助け水を経て森林限界を過ぎると樹木はなくなり、ハイマツ帯を抜けて五の池小屋がある飛騨頂上に達します。

北の継子岳、南の摩利支天へはそれぞれ30分程度です。【所要時間 3時間30分】

【地図】



【アクセス】

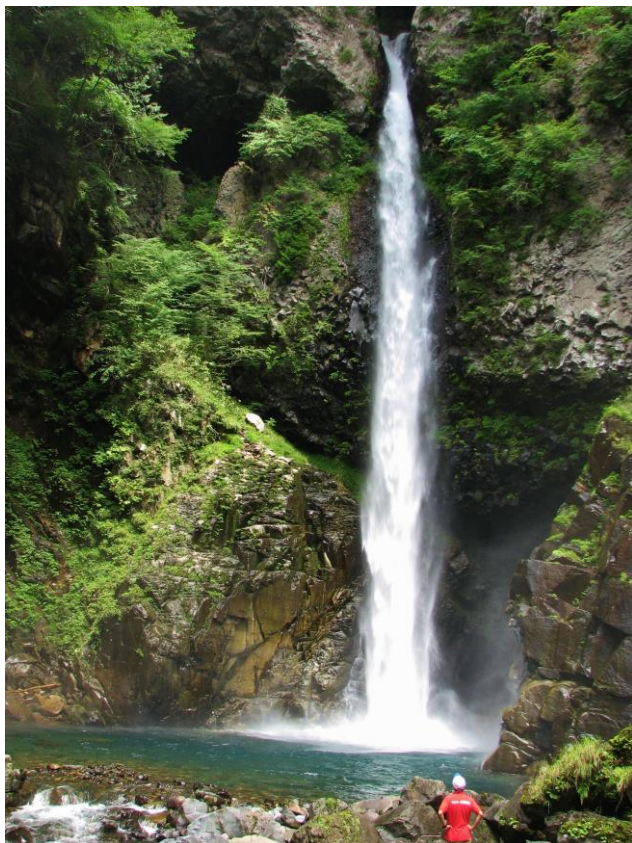
①国道41号線から下呂市小坂町の市街地に入ります。

②県道落合停車場線を進み、落合交差点を直進して鈴蘭口の三叉路まで上がります。

③鈴蘭口の三叉路を右折して、御嶽パノラマラインを進むと濁河温泉です。温泉街の外れに駐車場があります。

【道路状況】舗装道路、鈴蘭口から先は大型車すれ違い注意です。【駐車スペース】20台程度。

⑬根尾の滝 小坂地域



日本百名瀑のひとつ

根尾の滝は落差 63m、日本一滝の多い小坂の滝めぐりの中でも最大級の滝です。その美しさから、山奥深くにも関わらず、江戸時代でも高山陣屋代官をはじめ多くの文人墨客に愛され、書画に描かれてきました。

日本百名瀑に数えられています。

旧御嶽登山道の一部をたどる

根尾の滝登山道の入口の近くには、御嶽山二合目と彫られた石碑があります。昭和 30 年に濁河温泉への車道が開通するまで、1 日がかりで歩いた旧御嶽登山道の一部をたどり、往時をしのぶことができます。濁河川の谷間へ急降下する九十九折の道には、心太岩という見事な柱状節理が見られ、御嶽山溶岩流の活動を目の当たりにできます。

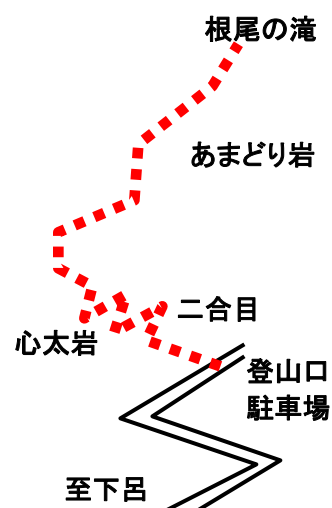
【登山ガイド】

榎谷林道を進み、森林管理署ゲートの手前に駐車場とトイレがあります。登山道に入ると雑木林に御嶽二合目の石碑があり、それを過ぎると溶岩壁の九十九折を急降下して濁河川を吊橋で渡ります。

濁河川に沿って緩い上り下りをしながら進むと、対岸にあまどり岩の巨大な岩穴が見え、やがて根尾の滝に到着します。

【所要時間 1 時間】

【地図】

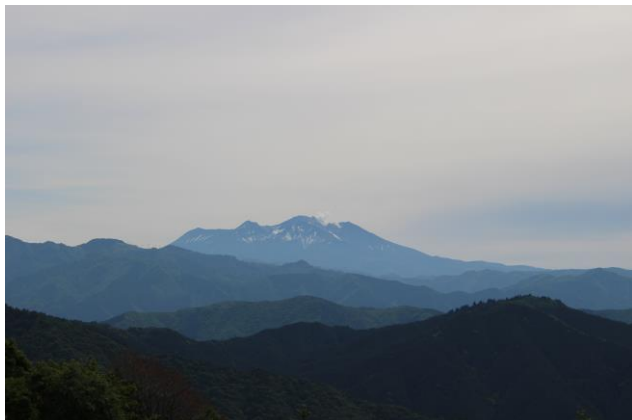


【アクセス】

- ①国道41号線から下呂市小坂町の市街地に入ります。
 - ②県道落合停車場線を進み、落合交差点を直進して、巖立峡の看板を目印に右折します。
 - ③巖立峡の駐車場をすぎて林道に入り、根尾の滝の案内に従って進みます。
 - ④森林管理署ゲートの手前に駐車場とトイレがあります。
- 【道路状況】巖立峡からの林道はダート、やや荒れており普通車は注意。【駐車場】10台程度。

※2018年の水害により吊り橋流失。現在はガイド付きツアーのみ入山可能。

⑭ 築谷山 1,213m 金山地域



太平洋側と日本海側の植生が見られる

築谷山は郡上の日本海側気候と、下呂市の太平洋側気候の中間にあたり、ブナ林の南限など北と南の植生が混じった貴重な場所です。

春にはクマガイソウなど貴重な植物も見ることができます。

展望抜群の岳美岩

頂上直下には岳美岩という、山腹に突き出た巨岩があり、岩の上に立つと、御嶽山から名古屋方面にかけて視界を遮るものがない大パノラマが展開します。

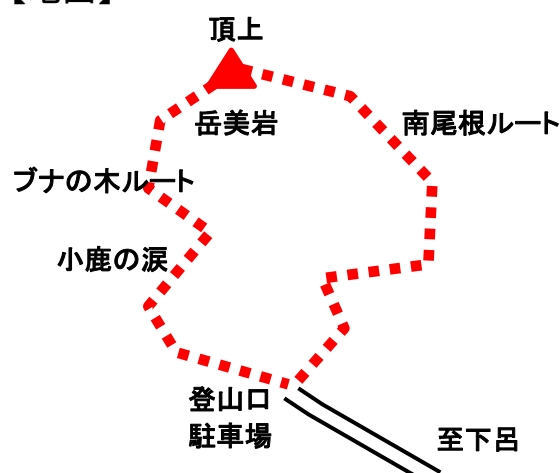
【登山ガイド】

登山口から南尾根ルートとブナの木ルートがありますが、一般的には反時計回りに南尾根ルートから登ります。

谷川に沿って登り、急な斜面を尾根道に取りついて登ると明るい頂上に着きます。下りは尾根道をゆるゆると下り、小鹿の涙という小さな滝を経て登山口に戻ります。

【所要時間 2 時間】

【地図】



【アクセス】

- ① 国道41号線から国道256号線に入り、県道金山明宝線を岩屋ダム方向に進みます。
 - ② 岩屋ダム湖畔の道を左折して馬瀬大橋を渡し、金山明宝線を直進すると金山の森キャンプ場です。
 - ③ 金山の森キャンプ場をすぎて進むと、左折して弓掛川を渡し、築谷山への林道に入ります。
 - ④ 舗装林道を終点まで上がった場所に登山口の駐車場とトイレがあります。
- 【道路状況】舗装道路、狭いながら路面状況は良い。【駐車場】数台程度。

